第22回品質保証検討会　議事録

1．日時　平成20年 5月 22日（木）　13:30～14:45

2．場所　東京商工会議所ビル　4階　402～403会議室

3．出席者（敬称略，五十音順）

出 席 委 員：渡邉（邦）主査（東京電力），溝内副主査（関西電力），石井（日本原子力研究開発機構），井田（中国電力），大友（東北電力），小宮山（グローバル・ニュークリア・フュエル・ジャパン），齊藤（慎）（日本原子力技術協会），齋藤（鉄）（西日本技術開発），佐々木（日本原燃），佐藤（東芝），芝原（日立GEニュークリア・エナジー），島津（北海道電力），首藤（電源開発），鈴木（中部電力），高橋（富士電機システムズ），竹添（九州電力），辰巳（北陸電力），古川（日本原子力発電），米田（原子燃料工業），渡辺（原子力安全基盤機構）　(計20名)

代 理 委 員：今村（三菱重工業 宮越代理），小坂（原子力安全・保安院 佐野代理，新委員候補），沢（IHI 久保田代理）　(計3名)

欠 席 委 員：伊東（三菱原子燃料），手束（四国電力），中條（中央大学），結城（原子力安全・保安院）　(計4名)

常時参加者：上野（東京電力），小林（原子燃料工業），下川（原子力安全基盤機構）　(計3名)

オブザーバ：大谷（三菱電機，新委員候補 ），菅野（電源開発，新委員候補），三浦（日立GEニュークリア・エナジー）　(計3名)

事　務　局：糸田川，国則，井上（日本電気協会）　(計3名)

4．配付資料

資料No.22-1　第21回品質保証検討会　議事録（案）
資料No.22-2　原子力規格委員会　品質保証分科会　品質保証検討会委員名簿
資料No.22-3　JEAC4111，JEAG4121定期見直し時期の延期について
資料No.22-3-1　プロセス関連図
資料No.22-4　平成20年度JEAC4111普及促進のための講習会実施計画（案）
資料No.22-5　第21回分科会コメント対応（案）
参考資料　H20年度　品質保証検討会作業会体制

5．議事

(1) 会議定足数の確認

渡邉（邦）主査による代理出席者3名の承認後，事務局より代理出席者を含め出席委員数が23名で委員総数の3分の2以上となり，議案決議の定足数を満たしていることが確認された。

(2) 第 21 回品質保証検討会　議事録（案）について
資料 No.22-1 に基づき，事務局より第 21 回品質保証検討会議事録(案)が紹介され，本内容で正式な議事録とすることが，全員の賛成で承認された。

(3) 原子力規格委員会　品質保証分科会　品質保証検討会委員・常時参加者について
資料 No.22-2 に基づき，事務局より品質保証検討会の新委員候補，退任予定委員が紹介され，また原子燃料工業の小林氏より検討会への常時参加希望があり，一部委員の継続について確認し名簿に必要な反映を行ったうえで，新委員候補について次回分科会に提案すること，小林氏を常時参加者として認めることについて，全員の賛成で承認された。

(4) JEAC4111，JEAG4121 の定期見直し時期の延期について
溝内副主査より，資料 No.22-3 に基づき，原子力発電所における安全のための品質保証規程（JEAC4111-2003）及びその適用指針（JEAG4121-2005）の定期見直し時期について，今年 12 月に改定版の発行が予定されている JIS Q 9001 の改定内容の反映要否検討のため，原子力規格委員会への上程を 12 月に延期する提案が紹介された。審議の結果，資料中の JIS Q 9001 の発行予定を 12 月に修正し ISO9001 の 10 月発行予定を追記するなど，一部の記載を適切に修正のうえ品質保証分科会に提案することについて，全員の賛成で承認された。

(5) JEAC4101 廃止提案の公衆審査状況について
事務局より，原子力発電所の品質保証指針（JEAC4101-2000）廃止提案の公衆審査状況について，5 月 25 日で終了となるが，現在まで資料請求や意見提出はないこと，締め切りまでに意見提出がなければ廃止が成案となることが紹介された。

(6) 平成 20 年度講習会実施計画について
井田委員より，資料 No.22-4 に基づき，平成 20 年度講習会実施計画（案）が紹介され，以下のコメントを踏まえて一部の記載を適切に修正のうえ品質保証分科会に提案することについて，全員の賛成で承認された。主なコメント，質疑は以下の通り　。
・別紙１「平成 20 年度 JEAC4111 講習会の概要」の脚注に，昨年度の特別講習会（調達管理，根本原因分析）の内容を含めて実施することを追記すること。
・別紙 3「コースⅡ講習会の時間割，講師，テキスト修正（案）」の脚注②，⑤を削除すること。
・講師予定の委員が交代となった場合，新委員の講師引き継ぎについては，状況を踏まえて検討，判断すること。
・コースⅣ講習会の調達管理の実際は，メーカが講師となっているが，事業者とメーカでは調達の内容も違うのではないか。
→マネジメントレビューも同様であるが，調達管理についてもメーカは長い実績を持っており，そのベストプラクティスを紹介して事業者の活動の参考にすることを考えているものである。

・コースⅣ講習会での RCA の紹介に関して，東京電力の他もう一社については，提案した事業者から断わられ，調整中（8 月末までに決める予定）である説明があった。議事の中で石井委員に打診がなされ，「そのような要請があった」と受止める旨の回答があった。

(7) 第 21 回分科会コメント対応について

溝内副主査より，資料 No.22-5 に基づき，第 21 回分科会コメント対応（案）が，竹添委員より，資料 No.22-3-1 に基づき，JEAC4111，JEAG4121 改定案に含める予定のプロセス関連図が紹介され，以下のコメントを踏まえて一部の記載を適切に修正のうえ品質保証分科会に提案することについて，全員の賛成で承認された。主なコメントは以下のとおり。

・コメント No.1 対応欄の JEAG4121「図 2.11.3･･･」の部分を，JEAG4121 改定案「図 2.11.3 ･･･」と修正する。また，「今回･･･使い分けを試みましたが，」の部分は削除する。

・プロセス関連図中の根本原因分析の箇所を，「附属書　根本原因分析」という記載に修正する。

(8) H20 年度　品質保証検討会作業体制

溝内副主査より，参考資料に基づき，今年度の検討会の作業体制が紹介され，以下のとおり，一部適切に修正することとした。

・IAEA 検討チームは人数が少ないため，メンバ全員をコアメンバとする。

・退任委員は，新委員に読み替える。

・JIS 検討チームの名称は，ISO 対応チームに変更する。

・タイトルは「H20 年度　品質保証検討会作業体制」とする。

(9) その他

次回検討会の開催日程は，状況を見て追って決めることとした。

以　上